

# 第9回仙台国際音楽コンクール関連事業 審査委員によるマスタークラス 受講申込書

申込部門 (いずれかを○で囲んでください): ヴァイオリン部門 / ピアノ部門			
フリガナ	(西暦) 年 月 日生		
氏名	生年月日	( 歳) (2025年4月1日時点)	
	性別	男・女・回答しない	
現住所	〒 都道府県 市町村		
TEL	( ) -	FAX	( ) -
Eメール	携帯電話 ( ) -		
職業	在学学校名または卒業校名		学年在籍 / 年 月 卒業 (2025年2月28日時点)
コンクール受賞歴等		師事者	
年 月	年 月~		
年 月	年 月~		
年 月	年 月~		
受講希望月日及び講師名 ※希望以外の講師になる可能性もございます。	受講希望月日	講師名 (カタカナ)	
	第1希望	月 日	
	第2希望	月 日	
第3希望	月 日		
受講希望曲 (応募音源に収録した曲)	作曲者/曲名 (※作品番号・楽章まで記入)		
	録音日 年 月 日 録音場所 ( )		
	【音源の提出方法】 該当する提出方法に <input checked="" type="checkbox"/> を付けてください。 <input type="checkbox"/> 録音データファイルをメールで送付 <input type="checkbox"/> CDを郵送 (同封/別途郵送)		
保護者同意欄	2025年4月1日時点で18歳未満の方は保護者の同意をお願いします。 申込者 年 月 日 がマスタークラスを受講することに同意します。 保護者 住所 氏名 印		

※提出された書類、音源は返却いたしません。  
 ※主催者(仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団)では、応募者および受講生の個人情報について適切な管理を行うと共に、外部への流出防止に努め、個人情報の保護に努めます。しかし、マスタークラスの内容の都合により、最低限の個人情報を公開しなければならない場合があります。本受講申込をもって、提出された写真、および記載された内容(氏名、年齢、居住地(住所番地は除く)、学歴、受賞歴、受講曲)について公開の承諾をしていただいたものとみなします。  
 ※マスタークラスは記録・広報等で録音、撮影が入る場合がございます。なお、全ての演奏、および録音・録画等に含まれる演奏に関する受講者の著作権隣接権(人格権を除く)、ならびに記録写真等の肖像権は、主催者である公益財団法人仙台市市民文化事業団に無償譲渡されるものとし、受講者はそれに同意するものとします。

このチラシはリサイクルできます。

# 第9回仙台国際音楽コンクール関連事業 審査委員によるマスタークラス 受講生募集要項



第9回仙台国際音楽コンクール開催期間中に、世界の第一線で活躍する著名な演奏家、指導者である当コンクール審査委員による公開マスタークラスを、ヴァイオリン部門とピアノ部門の2部門で開催します。



## ヴァイオリン部門

日程 2025年6月2日(月)、3日(火)  
 会場 日立システムズホール仙台シアターホール  
 募集人員 概ね6名(1名1回60分のレッスン)



## ピアノ部門

日程 2025年6月23日(月)、24日(火)  
 会場 日立システムズホール仙台シアターホール  
 募集人員 概ね6名(1名1回60分のレッスン)



### ヴァイオリン部門



2025年  
6月2日(月)



フリーデマン・アイヒホルン  
Friedemann EICHHORN



リヴィウ・プルナル  
Livi PRUNARU



ミハエラ・マルティン  
Mihaela MARTIN

6月3日(火)



チョーリャン・リン  
Cho-Liang LIN



ボリス・ベルキン  
Boris BELKIN



ハイメ・ラレード  
Jaime LAREDO

### ピアノ部門



2025年  
6月23日(月)



ジャック・ルヴィエ  
Jacques ROUVIER



ダン・タイ・ソン  
DANG Thai Son



レナ・シェレシェフスカヤ  
Rena SHERESHEVSKAYA

6月24日(火)



ケヴィン・ケナー  
Kevin KENNER



マティアス・キルシュネライト  
Matthias KIRSCHNEREIT



ジュゼップ・コロソ  
Josep COLOM

【主催】 仙台国際音楽コンクール組織委員会、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団 【制作協力】 HAL PLANNING  
 【お問い合わせ】 公益財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局 TEL 022-727-1872(平日9:30~17:00) / E-mail masterclass@simc.jp

## 開催概要

### ヴァイオリン部門

日程	2025年6月2日(月)、3日(火)
会場	日立システムズホール仙台 シアターホール
募集人員	概ね6名(1名1回60分のレッスン)



### ピアノ部門

日程	2025年6月23日(月)、24日(火)
会場	日立システムズホール仙台 シアターホール
募集人員	概ね6名(1名1回60分のレッスン)



受講資格	将来音楽家を志す中学生以上25歳以下の方。国籍不問。※2025年4月1日時点
選考	書類、音源による審査を経て受講生を決定し、応募者全員に結果をご連絡いたします。(3月下旬を予定) 【選考審査委員】 ヴァイオリン部門：堀 正文、澁谷 由美子、加藤 知子 ピアノ部門：野平 一郎、東 誠三、倉戸 テル
受講曲目	各部門とも自由 ※ただし、選考用録音曲と同じ曲とします。
申込方法	(1) 郵送の場合 受講申込書に必要事項を記入し、下記申込先へ送付してください。 (2) 申込フォームの場合 受講申込専用フォーム(下記アドレスまたはQRコード)に必要事項を入力して送信してください。 《申込フォーム》 <a href="https://forms.gle/PKT3wCZTPqV1LQW68">https://forms.gle/PKT3wCZTPqV1LQW68</a> (共通) 写真、受講希望曲の音源(10分程度)は別途下記申込先へ提出してください。
写真・音源の提出方法	〈写真〉 画像データを申込先宛にメールで送付(1MB以内であること)してください。 メール本文に「氏名」を記載してください。 〈音源〉 ●録音ファイルの場合 MP3またはMP4のファイルを申込先宛にメールで送付(25MB以内であること)してください。 メール本文に「氏名/曲目/収録日時/収録場所」を記載してください。 ●CDの場合 盤面に「氏名/曲目/収録日時/収録場所」を記載して申込先宛に郵送ください。
申込先	公益財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局 マスタークラス応募係 〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5(日立システムズホール仙台内) 《E-mail》 <a href="mailto:masterclass@simc.jp">masterclass@simc.jp</a>
申込締切	2025年2月28日(金) 必着
受講料	25,000円 ※交通費その他受講のための費用は受講生負担となります。 ※伴奏ピアニストが必要な場合は各自同伴してください。 ※主催者側で日本語通訳を手配いたします。
聴講料	レッスンは一般公開されます。 (1日券) 一般2,000円 学生500円 ※聴講券は2025年2月頃発売予定です。 ※受講生は無料です。



## ～第9回仙台国際音楽コンクール～

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が2001年に創設し、3年毎に行うコンクールです。才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。協奏曲を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、公正で信頼性の高い運営とともに、市民ボランティアの温かいホスピタリティに支えられたコンクールです。国際音楽コンクール世界連盟加盟。

開催期間：[ヴァイオリン部門] 2025年5月24日(土)～6月 8日(日)  
[ピアノ部門] 2025年6月14日(土)～6月29日(日)

会場：日立システムズホール仙台  
詳細は公式サイトをご覧ください。 <https://simc.jp>



## 講師プロフィール

※講師の詳しいプロフィールについては、第9回仙台国際音楽コンクールの公式ホームページをご確認ください。  
※都合により、講師が変更になる場合があります。

### ヴァイオリン部門

2025年 6月2日(月)	<b>フリーデマン・アイヒホルン</b> Friedemann EICHHORN (ドイツ) クロンベルク・アカデミー芸術監督、ワイマール・フランツ・リスト音楽大学教授。ソリスト、室内楽奏者としても活躍し、ファジル・サイやエフゲニー・キーシンの作品を初演している。マインツ大学で音楽学の博士号を取得。学術雑誌への投稿や楽譜編集、デジタル楽譜サービス「ヘンレ・ライブラリー」のアドバイザーも務めている。	<b>リヴィウ・プルナル</b> Liviu PRUNARU (ルーマニア/ベルギー) ルーマニア出身。6歳よりヴァイオリンを始め、メニューイン・アカデミーで学び、ニューヨークでドロシー・ディレイのもとで研鑽を積む。インドアナポリスやエリーザベト王妃などの国際コンクールに多数入賞。ソリスト、室内楽奏者としても活躍するほか後進の指導にもあたっている。	<b>ミハエラ・マルティン</b> Mihaela MARTIN (ドイツ) クロンベルク・アカデミー教授。19歳でチャイコフスキー国際コンクール第2位。その後、主要コンクールで多数入賞。オーケストラとの共演や世界各地の室内楽音楽祭にも参加。マスタークラスも積極的に開催。ミケランジェロ弦楽四重奏団メンバー。パレンボイム＝サイード・アカデミーでも教鞭を執る。
------------------	---	--	--

6月3日(火)	<b>チョーリャン・リン</b> Cho-Liang LIN (アメリカ) ライス大学教授。1980年メータ指揮ニューヨーク・フィルでデビュー。以来、世界の主要オーケストラと共演。録音も数多く、ジョン・ハーピソン、タン・ドゥン、ジョン・ウィリアムズなど現代作曲家の新曲委嘱・初演に努めている。台北ミュージックアカデミー&フェスティバルを創設するなど教育活動にも積極的に取り組む。	<b>ボリス・ベルキン</b> Boris BELKIN (ベルギー) 7歳でコンドラシンと共演デビュー。モスクワ音楽院を経て西欧に移住後、世界的な演奏活動を展開。ベルリン・フィル、ボストン響、小澤征爾、ラトル等、主要なオーケストラや指揮者と共演を重ね、絶賛されているバガニエリの協奏曲など録音も多数。バシュメット、マイスキー等と室内楽に取り組み、マスタークラスも毎年開催している。	<b>ハイメ・ラレード</b> Jaime LAREDO (アメリカ) アメリカ音楽界を代表するヴァイオリニスト、指揮者。ボリビア生まれ。1959年エリーザベト王妃優勝。世界の主要オーケストラと共演するほか、ソロ、室内楽にも取り組みレコーディングも多数。指揮活動も積極的に行う。インディアナポリス国際コンクール審査委員長。クリーヴランド音楽院で後進の指導にあたっている。
---------	--	--	--

### ピアノ部門

2025年 6月23日(月)	<b>ジャック・ルヴィエ</b> *審査副委員長 Jacques ROUVIER (フランス) ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。パリ国立高等音楽院では、フレイ、グリモラ多くの著名なピアニストを輩出した。カントロフ、ミュレールとピアノ・トリオを結成して活躍。ラヴェルのピアノ曲全集など録音は30以上あり、仏ディスク大賞を受賞。世界中の音楽祭やアカデミーに参加するほか、マスタークラスにも招待されている。	<b>ダン・タイ・ソン</b> DANG Thai Son (カナダ/ヴェトナム) 1980年ショパン国際ピアノコンクールでアジア人として初の優勝。以来、世界40カ国以上でリサイタルや一流オーケストラとの共演を重ねている。現在は、モントリオール大学で教鞭を執り、数多くのマスタークラスを世界中で開催。ショパン、クリーヴランド、ルービンシュタインなど、権威ある国際コンクールで審査委員を務める。	<b>レナ・シェレシェフスカヤ</b> Rena SHERESHEVSKAYA (ロシア/フランス) 名教授として知られ、主要国際コンクールで上位入賞を果たし国際的に活躍する音楽家を多数輩出しているピアニスト。世界各地でマスタークラスを積極的に開催するほか、国際コンクールで審査委員を務める。教育活動と並行して著名な演奏家との室内楽共演も多数。エコール・ノルマル音楽院で後進の指導にあたっている。
-------------------	---	---	---

6月24日(火)	<b>ケヴィン・ケナー</b> Kevin KENNER (アメリカ) ショパン国際ピアノコンクール最高位をはじめ数々の国際コンクールで輝かしい受賞歴をもつアメリカ出身のピアニスト。ショパン作品のCDは仏ディアパソン誌から五つ星を獲得。ジョン・キョンファとの世界ツアーなど室内楽でも積極的に活動している。英国王立音楽大学教授を経て2015年よりマイアミ大学フロスト音楽校で教鞭を執る。	<b>マティアス・キルシュネライト</b> Matthias KIRSCHNEREIT (ドイツ) “ピアノの詩人”と称される、ドイツで最も成功し注目されているピアニスト。レコーディング作品も数多く、エコー賞も受賞。ソリストとして主要オーケストラと共演のほか、室内楽も積極的に取り組む。ロストック音楽・演劇大学教授、「ゲツァイテン音楽祭」芸術監督を務めるほか、文化プロジェクト「Rhapsody in School」と「TONALI」にも注力している。	<b>ジュゼップ・コロソ</b> Josep COLOM (スペイン) スペインを代表するピアニスト。数々の国際コンクールで優勝後、スペインやフランスを中心に、オーケストラとの共演、ソロ、室内楽に取り組む。主要な音楽祭にも参加。CD制作では独自の美学と感性で作品の新たな面を描き出す作品作りを行っている。マスタークラスも積極的に開催。バルセロナのリセウ高等音楽院教授。
----------	---	---	---